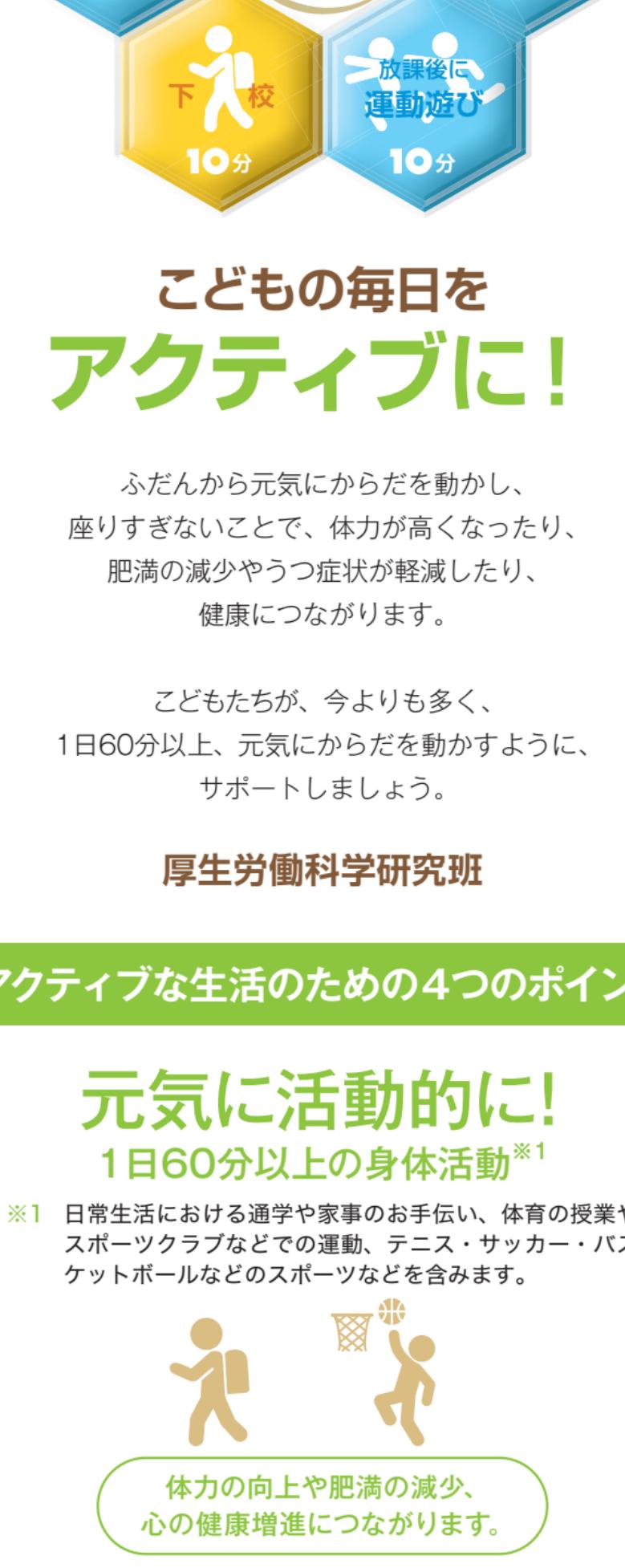


子どものための 身体活動の進め方



子どもの毎日を アクティブに！

ふだんから元気にからだを動かし、
座りすぎないことで、体力が高くなったり、
肥満の減少やうつ症状が軽減したり、
健康につながります。

子どもたちが、今よりも多く、
1日60分以上、元気にからだを動かすように、
サポートしましょう。

厚生労働科学研究班

アクティブな生活のための4つのポイント

元気に活動的に！ 1日60分以上の身体活動^{*1}

※1 日常生活における通学や家事のお手伝い、体育の授業やスポーツクラブなどでの運動、テニス・サッカー・バスケットボールなどのスポーツなどを含みます。



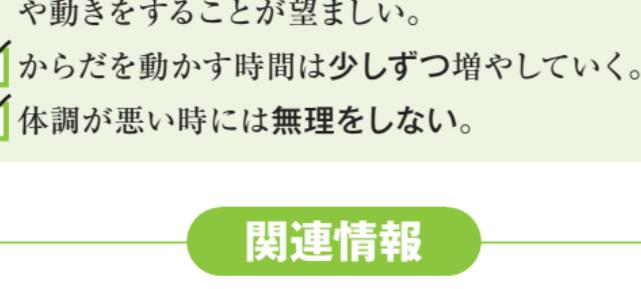
体力の向上や肥満の減少、
心の健康増進につながります。

1週間を通して1日60分以上の中高強度身体活動（主に有酸素性身体活動）を行うことを推奨します。

からだを強くする！ 週3日は高強度の有酸素性身体活動^{*2}と 筋肉・骨を強化する身体活動^{*3}

※2 かけっこや鬼ごっこのように呼吸がかなり乱れる強さで動く活動のことです。

※3 ジャンプなど筋肉への負担が比較的大きい動きを伴う活動のことです。

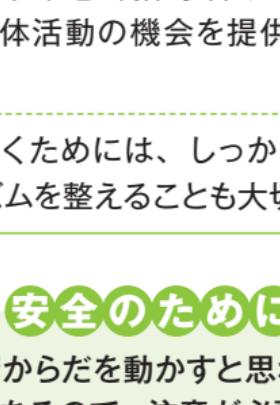


心肺機能や筋力の向上、
心の健康増進につながります。

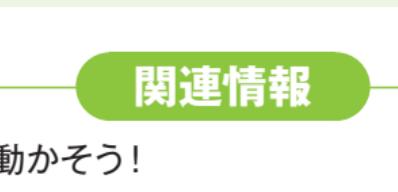
高強度の有酸素性身体活動、筋肉・骨を強化する身体活動とともに、少なくとも週3日は取り入れることを推奨します。

座りっぱなしを避ける！ 余暇のスクリーンタイム^{*4}を減らす

※4 テレビ視聴やゲーム・スマートフォンなど、スクリーンの前の行動のことです。



心肺機能や体力の低下、
心の健康の不良を防ぎます。



座りっぱなしの時間、特に余暇のスクリーンタイムを減らすことを行なうことを推奨します。

元気にからだを動かしている時間と スクリーンタイムを確認する

1日どのくらい元気にからだを動かしていますか？

からだを動かしている時間		
	平日	休日
1日の合計	分	分

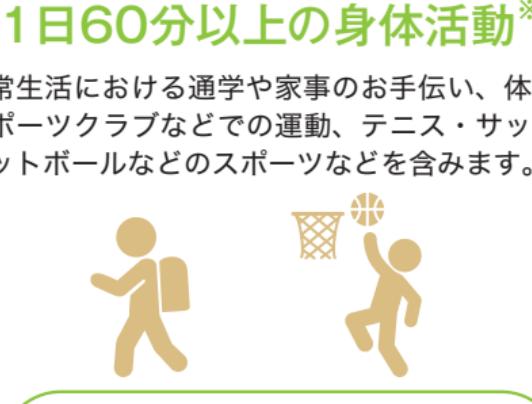
1日の合計が60分未満となっていませんか？ 学校の休み時間や自宅近隣での余暇時間、部活動など、どのような場面であとどのくらい活動的になれるか、1日の合計が60分以上となるように、普段の生活を振り返ってみましょう。

※5 公益社団法人日本小児科医会やWHOは、スクリーンタイムは2時間以内を推奨しています。

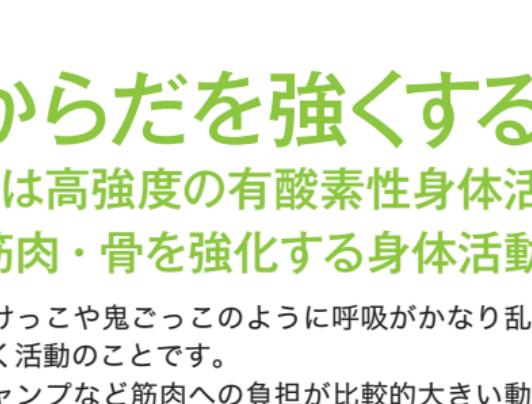
子どもの毎日をアクティブに！

子どもが1日60分以上、 元気にからだを動かせるように

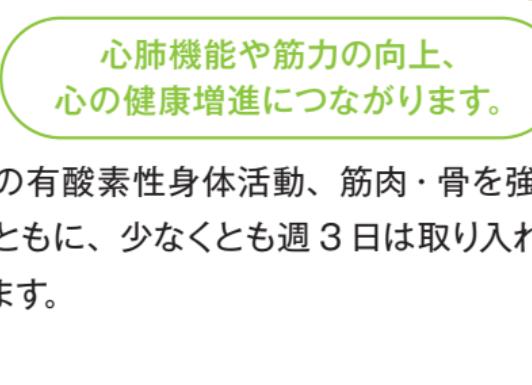
WHOは1日60分以上、元気にからだを動かすことを推奨しています。からだを強くする身体活動を行うことと、座りっぱなしの時間が長くなりすぎないようにすることも大切です。まずは、今よりも少しでも多くからだを動かすことから取り組みましょう。



60分以上



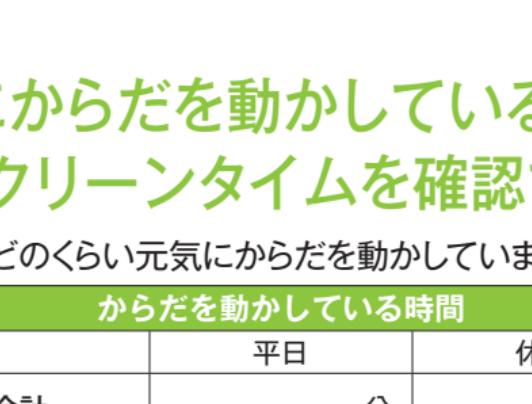
60分以上



60分以上



60分以上



60分以上

1日どのくらい余暇の時間に座っていますか？

テレビを見たりゲームをしたり、スマートフォンを使ったりしている時間		
	平日	休日
1日の合計	分	分

1日の合計が120分を超えていませんか？ どのような場面での利用であればどのくらい減らすことができるか、1日の合計が120分を超えないように、普段の生活を振り返ってみましょう。

※6 公益社団法人日本小児科医会やWHOは、スクリーンタイムは2時間以内を推奨しています。

子どもの健やかな成長を 支えるために

何もしないよりは、ある程度は身体活動を行うことが望ましいです。1日60分未満しか動いていない子どもも、少しでも多く身体活動を行うことが健康につながります。

急に高強度・高頻度の身体活動を行うのではなく、少しの身体活動から始めて、徐々に強度や頻度、実施時間を増やすように促しましょう。

楽しくて多様性があり、年齢と能力に適した身体活動の場に参加できるようにしましょう。

子どもを取り巻く指導者や地域は、安全で公平な身体活動の機会を提供するようにしましょう。

元気に動くためには、しっかりと睡眠をとり、1日のリズムを整えることも大切です。

安全のために

誤ったやり方でからだを動かすと思わぬ事故やケガにつながることがあるので、注意が必要です。

✓ ボールを投げる・蹴る、跳ぶなど同じ動きを多くしすぎず、さまざまな動作で、全身を使える運動や動きをすることが望ましい。

✓ からだを動かす時間は少しずつ増やしていく。

✓ 体調が悪い時には無理をしない。

関連情報

- からだを動かそう！
- 歩数を増やすコツ
- 運動習慣を身につけるコツ
- 座りすぎを避けるコツ
- 元気と健康のための筋トレ
- 成人のための身体活動のポイント
- 高齢者のための身体活動のポイント
- 働く人のための身体活動のポイント
- 慢性疾患を有する人のための身体活動のポイント
- 健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023